初めにお読みください

初めてカメラの電源を入れた際、液晶画面に言語の設定画面が表示されます。◇ボタンでご希望の言語を選択し、OKボタンを押して確定してください。
その後、日付設定画面に切り替わりますので、使用説明書 25 ページ「**日付と時間の設定**」の **6** 番以降の説明に従い、日付と時間を設定してください。

機能変更のお知らせ （ファームウェアバージョン 2.00 以降）

本製品は、ファームウェアのアップデート（ファームウェアバージョン 2.00 以降）により、以下の機能が追加・変更となっています。

ご注意!!

- ファームウェアのアップデートにより、セットアップメニューに新しい項目が追加されています。使用説明書のメニューリスト（P.29）と並び順等が異なっていますのでご注意ください。

SFD (Super Fine Detail)モードを搭載しました。 （2.00 以降）

露出の違う写真を複数枚記録し、SIGMA Photo Pro で合成することで、ダイナミックレンジが広くノイズを抑えた、ディティールが繊細な写真を生成することができます。

- SFD モードでの撮影は、しっかりした三脚にカメラを固定し、ご使用のレンズが OS（手振れ補正機能）付の場合は OS を OFF にしてください。
- SFD モードの合成結果はカメラ内では確認できません。
- SFD モードで撮影されたファイルは拡張子が .X3I となります。

1

「**撮影設定**」（P.27）→「**SFD モード**」→「**入**」を選びます。

- SFD モードに設定すると、カメラの設定が以下のように固定される、もしくは選択が制限されます。

露出モード	**A**、**M** モード
ドライブモード	1 コマ撮影、 セルフタイマー2 秒、10 秒

ISO 感度	ISO100
画質	RAW
画像サイズ	HIGH

2

シャッターボタンを半押しして撮影状態に戻ります。（画面左端に、SFD アイコンが表示されます。）

3

シャッターを押すと自動的に 7 枚撮影されます。

- SIGMA Photo Pro での現像で、SFD 画像を生成することができます。詳しくは SIGMA Photo Pro のヘルプをご参照ください。
- SFD モードで撮影されたファイルは、SIGMA Photo Pro で合成前の X3F ファイルを抽出することができます。詳しくは SIGMA Photo Pro のヘルプをご参照ください。

ご注意!!

- オートブラケット撮影、カスタムブラケット撮影、フラッシュ撮影は併用できません。

SFD モードで撮影されたファイルをカメラで再生すると…

SFD モードの合成結果はカメラ内では確認できません。カメラでは以下のように再生されます。

- 通常の 1 画像再生では、露出アンダーの画像から露出オーバーの順序で再生されます。画像右上のアイコンで何枚目の画像かがわかります。

1 コマ目（露出アンダー） ▶▶ 4 コマ目（基準露出） ▶▶ 7 コマ目（露出オーバー）

- 9 画像表示では、サムネイルに基準露出の画像が表示されます。（サムネイル画像に SFD アイコンが表示されます。）

ご注意!!

- SFD モードで撮影されたファイルを消去する場合、ファイル中の任意のコマを消去することはできません。すべてのコマが消去されます。

DNG 形式で記録できるようになりました。 （2.00 以降）

DNG は、アドビシステムズ株式会社（Adobe Systems Incorporated）が開発した RAW 形式の画像データです。SIGMA Photo Pro では現像することができません。DNG に対応した現像ソフトをご使用ください（ソフトの仕様によって、本カメラで撮影された DNG ファイルに対応していない場合があります）。

- DNG と JPEG の同時記録はできません。
- DNG 設定時、ホワイトバランスの微調整はできません。
- DNG 設定時、以下のカラーモードは設定できません。
  [**CINE**], [**Sun R.**], [**For G.**], [**For B.**], [**Fov Y.**]
- DNG 設定時、カラーモード詳細設定の変更はできません。
- DNG 設定時、カスタムブラケットは設定できません。
- DNG ファイルをカメラ内 RAW 現像することはできません。

シャッターボタン半押し時の AF 動作の有無を設定できるようになりました。(1.01 以降)

シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスを作動させるか、させないかを設定することができます。

「**撮影設定**」（P.27）→「**半押し AF-ON**」より設定します。

切	シャッターボタンを半押ししても、オートフォーカスが作動しません。
入（初期設定）	シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスが作動します。

「**半押し AF-ON**」の設定を「**切**」にして、**AEL** ボタンの設定を「**AF-ON**」にすると、オートフォーカスの作動をシャッターボタンから切り離す使い方ができます。**AEL** ボタンの設定は P.74 の「**AE ロックボタンの割り当て**」を参照してください。

ディスプレイモードを増やしました。 （1.01 以降）

表示させたい情報をカスタマイズできるディスプレイモードを 2 つから 4 つに増やしました。（P.36,122 参照）

ご注意 !!

- 今回のファームアップでメニュー項目名が「**ディスプレイモード設定**」から「**モード設定**」に、オプション名が「**ディスプレイモード**」から「**カスタム**」に変更になりました。

カスタムホワイトバランスの取得方法が変わりました。 （1.01 以降）

カスタムホワイトバランスの取得方法（P.66）が、シャッターボタンから **AEL** ボタンに変更になりました。

ご注意 !!

- カスタムホワイトバランス取得時に AF は作動しません。フォーカスリングを回してピントを合わせてください（ピントはおおよそで構いません）。

Eye-Fi 連動機能に対応しました。 （1.01 以降）

Wi-Fi（無線 LAN）通信機能をもった Eye-Fi カード（市販品）を使用すると、画像をワイヤレスでスマートフォンやパソコンに転送することができます。

- 画像の転送機能は Eye-Fi カードが備えています。カードの使用方法やセットアップ方法などは、カードの使用説明書を参照してください。
- ご使用になる Eye-Fi カードによっては、RAW 形式の画像を転送することができます。詳しくは Eye-Fi カードの使用説明書を参照してください。

Eye-Fi カードをカメラに入れると、「**カメラ設定**」（P.27）→「**Eye-Fi 設定**」→「**Eye-Fi 転送**」の項目がセットできるようになります。

Eye-Fi 転送

切	通信・転送機能を停止し、通常のメモリーカードと同じように動作します。
入（初期設定）	カード側の設定により、画像を自動転送します。

- 画面に表示される Wi-Fi マークの状態で、通信状況を確認できます。

—（未点灯）	「**Eye-Fi 転送**」が「**切**」になっている
（グレー点灯）	未接続
（白 点滅）	接続トライ中
（白 点灯）	転送待機中
（アニメーション）	画像転送中
	Eye-Fi カード情報取得エラー （カメラの電源を入れ直してください。繰り返し表示される場合は、カードの異常が考えられます。）

- 転送が完了した画像には Wi-Fi マークが表示されます。
- Eye-Fi カード固有の情報や、通信情報を確認することができます。
  確認できる情報 :
  接続先 SSID
  カードの MAC アドレス
  カードのファームウエアバージョン

「**カメラ設定**」（P.27）→「**Eye-Fi 設定**」→「**通信情報**」より確認してください。

ご注意!!

- 画像の転送中に、カメラの電源を OFF にすると転送が中断されます。再度電源を ON にすると転送が再開されます。
- Eye-Fi カードは、使用する国や地域で使用が認められているか確認してください。またその国や地域の法律に従ってお使いください。
- Eye-Fi 転送を「**切**」に設定していても、カードから電波が発信されることがあります。病院や航空機内など、電波の発信を禁止している所では、カメラからカードを取り出してください。
- 通信状況によって、画像の転送が遅くなったり、中断する場合があります。
- 画像の転送中に撮影をすると、通信・転送が中断される場合があります。撮影した画像のカードへの書き込みが完了すると、通信・転送が再開されます。
- 画像の転送ができない場合は、カードの使用説明書を参照し、カードやパソコンの設定を確認してください。
- Eye-Fi カードの通信・転送機能はカメラの電源で作動するので、電池の消耗が早くなります。
- 音声メモ（P.110）の付けられた画像は、画像データのみ転送され、音声データは転送されません。